

佐渡市まち・ひと・しごと・創生総合戦略 数値目標・KPI進捗管理表(平成30年度実績)※未定稿

数値目標

基本目標		数値目標		計画策定時		H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31目標値	実績に対する評価・今後の対応	担当課
1	島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。	新規就農経営体数	16 経営体 (H26)	16 経営体	11 経営体	6 経営体	6 経営体	34 経営体	実績としては、例年並みであった。新規就農者確保に向け、就農イベントへの出展とともにインターネット等による情報発信を強化する。	農業政策課		
		新規起業、第二創業及び企業誘致した数	3 件(累計) (H26)	15 件(累計)	23 件(累計)	39 件(累計)	61 件(累計)	50 件(累計)	地域社会維持推進交付金を活用し、新規起業、第二創業、起業誘致等の目標を達成できた。今年度も交付金を活用して実績を伸ばしていきたい。	地域振興課		
2	世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する。	観光入込数	53 万人 (H25)	50.4 万人	50.0 万人	48.8 万人	49.1 万人	70 万人	データの抽出方法見直し ※島民カード以外50.4万人	観光振興課		
		佐渡観光旅館連盟加盟旅館延べ宿泊数	364,493 泊 (H25)	308,191 泊	291,106 泊	272,286 泊	290,656 泊	492,000 泊	データの抽出方法見直し 旅館組合以外も含める	観光振興課		
		リピート率	37.8 % (H24)	39.0 %	42.4 %	34.0 %	5月予定 %	55.0 %	6月頃公表 新潟県観光地満足度調査	観光振興課		
		観光客1人当たり平均宿泊数	1.56 泊 (H25)	1.60 泊	1.82 泊	泊	1.73 泊	1.61 泊	観光アンケートH28で修了 出展方法再検討	観光振興課		
3	生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。	合計特殊出生率	1.88 (H25)	1.88 (H26)	1.75 (H27)	1.87 (H28)	未定 (H28)	2.08		市民生活課		
		社会減数	▲約370 人/年 (H21~H25)	▲348 人/年(H26)	▲318 人/年(H27)	▲308 人/年(H28)	▲348 人/年(H28)	▲185 人/年		市民生活課		
4	特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する。	これからも佐渡市に住み続けたいと思う人の割合	72.7 % (H27)	- %	- %	%	5月予定 %	80.0 %		企画課		
		自主防災組織率	88.0 % (H26)	89.4 %	89.8 %	89.6 %	89.9 %	100 %	組織率はほぼ横ばいとなっているが、概ね事業の目的は達成した。	防災管財課		

KPI（重要業績評価指標）

政策別の取組	指標名	計画策定時	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31目標値	実績に対する評価・今後の対応	担当課
基本目標1 島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。									
ア 高品質な佐渡米の生産推進による農業経営の安定化	認定農業者数	941人 (H26)	1,123人	1,172人	1,161人	1,129人	1,300人	農業者数が減少する中、認定農業者の増加は見込めない。認定されるべき農家は、すでに認定されているのが現状である。	農業政策課
	コシヒカリの1等米比率	66% (H22→H25平均値)	88%	80%	89%	79%	90%以上	一等級比率は向上。今後は品質の高位平準化を図る。	農業政策課
	米色彩選別機の導入(導入済件数)	0台	58台	96台	119台	122台	120台	H31目標数は達成。今後は品質の高位平準化を図る。	農業政策課
	「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」取組農家	539戸 (H26)	524戸	524戸	488戸	436戸	800戸	離農者比率と同様の減少。取組農家の減少歯止めに向け認証要件等を見直すなど検討する。	農業政策課
	「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」の販売店舗数	297店舗 (H26)	328店舗	328店舗	290店舗	322店舗	380店舗	関西以西をターゲットに新規店舗拡大を進める	農業政策課
イ 品質向上と多様な販売戦略による畜産・園芸の振興	繁殖牛飼育頭数	371頭 (H26)	362頭	371頭	466頭	6月予定 頭	540頭	CBS外部導入、補助金活用での農家増頭等もあり、H31目標値達成は可能な見込み。	農業政策課
	乳牛飼育頭数	337頭 (H26)	322頭	291頭	285頭	6月予定 頭	340頭	堆肥問題等有、増頭が進まない。今後は、水稲・園芸関係等に堆肥活用出来ないか検討をすすめる。	農業政策課
	おけさ柿栽培面積	383ha (H26)	377ha	362ha	356ha	345ha	385ha	担い手不足から減少傾向。担い手育成及び優良園地の維持を検討する。	農業政策課
ウ 循環型社会を支える林業の振興	木材の素材生産量	3,000 m ³ /年 (H25)	3,875 m ³ /年	2,375 m ³ /年	3,910 m ³ /年	12月予定 m ³ /年	7,000 m ³ /年	島外移出支援等により、更なる生産増を目指す	農林水産課
	佐渡産材利用新築戸数	4戸/年 (H26)	5戸/年	5戸/年	5戸/年	3戸/年	7戸/年	県と連携し補助制度の周知に努める	農林水産課
エ 佐渡産水産物のブランド力と販売力の強化による水産の振興	漁獲量	7,300 t (H22→H25平均値)	7,200 t	7,200 t	6,300 t	7月予定 t	7,500 t		農林水産課
	漁獲金額	32億円 (H22→H25平均値)	32億円	31億円	31億円	7月予定 億円	35億円		農林水産課
オ 起業・第二創業や企業誘致等による若者等の雇用の促進	商店街等での新規開業者数	3件 (H26)	15件	23件	16件	4件	50件		地域振興課

カ 6次産業化を中心とした高付加価値化・販売体制の構築	新たに雇用を創出する農商工連携又は6次産業化を行う企業・団体数	1件 (H26)	1件(累計)	1件(累計)	1件(累計)	2件(累計)	5件(累計)	地域社会維持推進交付金が少なく実績が伸びなかった。今年度は交付金を活用し、目標を達成してきたい。	地域振興課
	学校給食での佐渡産野菜使用率	25.5% (H26)	25.2%	28.8%	25.7%	22.2%	30%	天候により使用率が低下した。安定供給のため生産振興係等連携し生産拡大を進める。	農業政策課
キ 産業振興のための人材の育成	中学生の職場体験日数	2.2日/年 (H26)	2.4日/年	2.3日/年	2.4日/年	2.5日/年	5日/年	実際に職場に出向いての体験日は2.5日であるが、佐渡市が取り組んでいる課題解決型職場体験では、事前・事後学習や生き方・働き方トーク等があり、それらの内容を加えると、各校平均2.5時間取り組んでいる。今後は、その時間も加えて目標値を設定する。	
	ものづくり支援センター相談件数	- 件/年	52件/年	138件/年	109件/年	152件/年	50件/年		地域振興課
ク 高齢者・障がい者・女性の活躍を支援	ハッピーパートナー企業登録数	21団体 (H26)	25団体	26団体	28団体	28団体	30団体		企画課

基本目標2 世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する。									
ア 島の魅力の発信	市及び観光協会ホームページのページビュー件数	458,783 件/月 (H26)	668,156 件/月	835,239 件/月	1,953,467 件/月	690,914 件/月	500,000 件/月	H29の算出方法に疑問あり	
	地域ブランド調査市区町村の魅力度ランキング	ランク外 (H26)	96 位	ランク外	ランク外	ランク外	上位100位以内	地域ブランド力は観光のみで計ってはいけないような気がします	観光振興課
イ 周遊滞在型観光の充実	年間100人以上が参加する着地型商品数	6 コース (H26)	3 コース	1 コース	7 コース	4 コース	10 コース	集中化が見られる	観光振興課
	外国人観光客数	1,510 人/年 (H23)	6,065 人/年	5,906 人/年	17,000 人/年	- 人/年	5,000 人/年	2万人泊程度を見込む数に拘るとアジア中心になってしまう。クルーズ船算入していない	観光振興課
	航路総輸送人員	158 万人/年 (H26)	156 万人/年	150 万人/年	147 万人/年	148 万人/年	200 万人/年		交通政策課
ウ 観光客の受入環境の整備とおもてなしの醸成	観光・文化施設満足度	63.6 % (H23)	66.4 %	63.4 %	62.7 %	5月予定 %	67 %	施策との連動が必要 H30から実施	観光振興課
	主要観光拠点トイレの洋式化箇所数(市営)	15 箇所 (H26)	16 箇所	23 箇所	27 箇所	28 箇所	28 箇所	県・民間所有を含む。	観光振興課
	3資産を語るガイド数	- 人	0 人	0 人	0 人	6 人	50 人		観光振興課
基本目標3 生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。									
ア 出会いから結婚までのサポート	市が実施する出会いイベント等によるカップル成立数	11 組/年 (H26)	12 組/年	6 組/年	0 組/年	0 組/年	50 組/年	市独自の事業は実施しなかった。スポーツ文化活動など多方面において交流する機会に支援することも検討していく。	地域振興課
イ 出産や子育てしやすい環境づくり	出生数	344 人/年 (H25)	382 人/年	330 人/年	284 人/年	260 人/年	440 人/年		市民生活課
	親子や子ども同士が気軽に集える場所(子どもの居場所)	4 箇所 (H26)	5 箇所	5 箇所	4 箇所	4 箇所	9 箇所	事業対象を子どもから高齢者までの居場所としたことにより、1件の新規申請があった。今後も広く団体等に周知を図り、居場所づくり事業を推進する。	子ども若者課
	しまびとジュニア支援事業※(若者相談、子ども家庭相談、発達支援)相談者数	237 人 (H26)	329 人	475 人	475 人	581 人	400 人	相談者数は目標を上回っている。今後も関係機関との連携を強化し相談対応を図る。	子ども若者課
	中学生の職場体験日数	2.2 日/年 (H26)	2.4 日/年	2.3 日/年	2.4 日/年	2.5 日/年	5 日/年	実際に職場に向いての体験日は2.5日であるが、佐渡市が取り組んでいる課題解決型職場体験では、事前・事後学習や生き方・働き方トーク等があり、それらの内容を加えると、各校平均2.5時間取り組んでいる。今後は、その時間も加えて目標値を設定する。	学校教育課

ウ 学校教育及び就学支援の充実	市内放課後児童クラブ（学童保育）延べ利用児童数	31,000 人/年 (H26)	39,775 人/年	45,820 人/年	46,900 人/年	50,933 人/年	32,500 人/年	利用人数は目標を大きく上回っている。H31年度に金井第2児童クラブ開設済、R2年度に佐和田児童クラブの移転による定員増を計画している。	子ども若者課
	ファミリーサポートセンター延べ利用数	400 件 (H26)	383 件	362 件	98 件	124 件	500 件	会員数の減少に伴い利用数も減少していたが、直営化により若干数の増加があった。今後も他事業との連携を図り会員獲得に努める。	子ども若者課
エ 移住・定住の推進	若者定住支援数	25 人/年 (H26)	24 人/年	43 人/年	62 人/年	56 人/年	80 人/年	若者に向けた情報発信を強化した。若者定住に向けた補助制度なども含め情報発信していく。	地域振興課
基本目標4 特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する。									
ア 地域の拠点づくりと活力の再生	元気な地域づくり活動支援件数	106 件 (H26)	102 件	81 件	87 件	64 件	150 件	評価：地域等の要望に応じて支援した。対応：予算の範囲内で支援する。	地域振興課
	地域おこし協力隊員定着率	0 % (H26)	67 %	76.9 %	70 %	80 %	80 %	評価：平成30年度は退任1名のうち1名が定着した。対応：定着が促進される対策を検討したい。	地域振興課
イ 地域で安全・安心に暮らせる体制の整備	しまびと元気応援団自主活動グループ	35 団体 (H26)	35 団体	31 団体	26 団体	31 団体	50 団体	前年に比べグループ数が増加、延べ参加者数は32,643人。各グループの自主活動の他、しまびと元氣まつりを市民協働で実施した。H31年度は、地区出前講座等で、市民協働の健康づくりや新規グループの立ち上げに向け支援を行いたい。	市民生活課
	健康づくり教室(競技種目以外)指導者数	0 人 (H26)	15 人	24 人	24 人	24 人	30 人	一定の成果があったため、今後は教室を開催しない。	社会教育課
	さどひまわりネット登録率	24 % (H26)	25.6 %	25.6 %	26.6 %	28.5 %	30 %		市民生活課
ウ 地域防災体制の充実と活動拠点の整備	地域防災リーダー認定、登録者数	150 人 (H26)	217 人	216 人	216 人	216 人	300 人	登録者数はほぼ横ばいとなっているが、概ね事業の目的は達成した。	防災管財課